

浜田よしゆきです

プロフィール●府議4期、議員団副団長、文化生活・教育常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会、非核の政府を求める京都の会事務局員



平和が原点

府民要求実現へ東奔西走

一般質問で、

子育て支援、原発問題について追及

一般質問で浜田府議は、子育て世代への財政的支援の必要性、子どもの医療費助成制度の中学校卒業までの拡充、学校給食費無償化への財政的支援、高校通学費補助制度の拡充と弾力的運用、国の原発最大限活用の問題点と被ばく防護対策の後退への京都府としての対応について、質問しました。高校通学費の弾力的運用について、教育長は、「定期券だけでなく、回数券やライドシェア、タクシーなどでも対応している」と答弁しました。



一般質問で子育て支援、原発問題で質問

1万404筆の署名を提出された 教育請願を常任委員会で審査

12月議会には、「すべての子どもたちが安心して学べる学校づくりと教育条件の整備を求める請願」が、10404筆の署名を提出されました。党議員団は全員が紹介議員になり、文教常任委員会での請願審査では浜田府議が請願趣旨を説明しました。他会派の議員から、「請願の内容は反対ではないが、財政的に難しい」という発言もありましたが、採択では、共産党の2人だけの賛成で、否決されました。



12月4日 教育請願の提出

地域活動

11月9日に開催された「米軍基地いらんちゃフェスタ2025」は、あいにくの雨でしたが、450人が参加しました。

府会議員団からは、浜田府議、水谷府議、森府議が参加し、府会議員団の横断幕を掲げて、デモ行進しました。



米軍基地いらんちゃフェスタに参加

12月11日の午後6時から北大路タウン前で、きたかみ原発ゼロネットの毎月恒例のイレブン宣伝が行われました。浜田府議もマイクを握り、府議会一般質問で追及した、原発最大限利用の具体化と被ばく防護対策の後退問題について訴えました。



きたかみ原発ゼロネットのイレブン宣伝